

移住者紹介

鹿角市に新たな仲間が増えました

兵庫県からUターン

ふじた ひろし
藤田 広志さん



五感で大自然を感じながら歩いてシャッターを切ります。曹洞宗の開祖道元禅師の言葉で「春は花 夏ほととぎす 秋は月 冬雪さえて すずしかりけり」が座右の銘です。フェイスブックやインスタグラム、ツイッターで写真をアップしていますので、ぜひご覧ください。



移住者が増えています

本市への新たな人の流れをつくり、定住人口を確保し、地域活力を創出することをねらい、平成27年度から、取り組みを進めてきました。開始からこれまでの移住者数が、100人を超えました。

◆移住者の傾向

30歳代までが約8割を占め、子育て世代が多い傾向にあります。そのうちの約6割が関東圏からの移住者です。「祖父母と一緒に生活することが、子どものためにもよい」「土に触れさせたい」「憧れの広い一軒家が持てる」などの思いを持つ世帯が多くなります。また、孫ターン(※)など、本市に縁がある方が多い傾向にもあります。

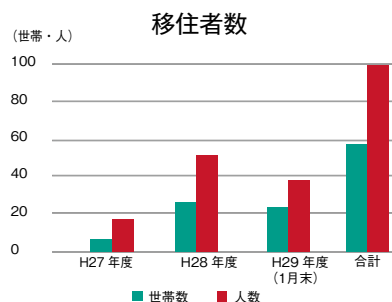
◆移住相談の内容

相談内容の約6割が住まいに関するもので、アパートよりも、中古の一軒家をリフォームして住みたいという要望が多く聞かれます。

◆移住コンシェルジュが活躍

6人の移住コンシェルジュが、移住希望者に対し、個別相談に応じているほか、首都圏で移住フェアなどに出展したり、フェイスブックやラインなどで本市の魅力を日々発信しています。また、お試し移住ツアーなどを企画し、移住を具体的にイメージできるよう支援していることが移住のきっかけとなっています。

問 政策企画課 鹿角ライフ促進班
☎ 30-0208



※孫ターン…都市部の子育て世代が、自分たちの親あるいは祖父母のいる地方に移住すること。

高校生新聞録

3月末で任期が終了する初代高校生広報室員からこれまでの活動を振り返ってもらいました。

①広報室活動の振り返り

②これまで取材した中で一番好きな鹿角の写真



【みい】

①鹿角を違う角度から見ることができ、何気なく過ごして気が付かなかったことにも目を向けることが出来ました。

②日が沈む直前の雪景色が一番好きです。

【たばた】

①映画の取材や市外の大学生と地域発展や将来について話す交流会など、とても貴重な体験ができました。鹿角の発展に関わることができてよかったです。

②やっぱり花輪はやしが一番好きです。

【ゆーみ】

①記事を学校の先生や親戚が見てくれていて、とても嬉しかったです。この活動を通して鹿角をもっと好きになりました。

②花輪高校までの通学路です。鹿角のまちを見渡せるのでとても好きな道です。

【イド】

①3年生なので会議や映画インタビューなどの活動になかなか参加出来ませんでした。自分にとって良い経験になりました。

②自宅近くの根市川です。天気がいい日はずっと眺めている景色です。

【姓】

①広報に自分たちの記事が掲載されているのを見ると、やりがいを感じました。これからも鹿角の魅力を皆さんに伝えられるよう頑張ります。

②映画の取材の写真です。鹿角の人の優しさがあふれた炊き出しでした。

【ねの】

①鹿角の魅力を自分なりに発信できて良かったです。これからもSNSを通して発信していきたいです。

②鹿角の景色がとてもキレイだと知り、鹿角の自然は宝物だと思いました。

【あおい】

①貴重な体験をさせてもらいました。俳優の山田さんにインタビューしたことはいい経験でした。

②高い建物がないので夕日が凄くキレイに見えるところが好きです。

【シェリングフォード】

①山田孝之さんへのインタビューをはじめ、広報室員の活動で改めて鹿角について知ることができました。

②冬に雪が積もって辺り一面が銀世界になると、とても幻想的に見えます。

【サトマ】

①この活動で鹿角について深く考えるきっかけになったので、学んだことを生かして活動の幅を広げたいです。

②米の収穫時期に撮影しました。一面に広がる田んぼがとても美しかったです。

【ことみ】

①鹿角の魅力をさらに知ることが出来ました。特に、山田孝之さんに取材が出来たのは、とても嬉しかったです。これからもこの活動を続けてほしいです。

②雪が光に照らされて、キラキラ輝いている様子がとても幻想的で好きです。



※これらの写真は、フェイスブックに投稿しています。「かつの高校生広報室」で検索できますので、ぜひご覧ください。

- 1 【みい】
- 2 【たばた】
- 3 【ゆーみ】
- 4 【イド】
- 5 【姓】
- 6 【ねの】
- 7 【あおい】
- 8 【シェリングフォード】
- 9 【サトマ】
- 10 【ことみ】